

事業番号	396
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	民俗資料保存施設管理事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	文化振興課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化財係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興		3 小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用します				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	6	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	文化財保護法									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	民俗資料は先人の生活ぶりを正しく理解するための手掛かりとして欠くことができない貴重な歴史資料であり、それらを後世に伝える。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 市民から寄贈された民俗資料を、良好な状態で収納、保管し、保護、保存した。職員は委託事業の契約事務の他、施設の維持管理、保管品の管理などを行う。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 機械警備業務の委託(215千円) 消防設備点検保守の委託(9千円) クレーン点検保守業務の委託(88千円) 収蔵品の燻蒸処理業務の委託(294千円) その他、消耗品費、燃料費、光熱水費等(636千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 機械警備業務の委託(223千円) 消防設備点検保守の委託(16千円) クレーン点検保守業務の委託(93千円) 収蔵品の燻蒸処理業務の委託(309千円) その他、消耗品費、燃料費、光熱水費等(1636千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,216	1,243	1,242	2,277	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	1,742	1,769	1,768	2,803		
	対前年比	%		101.5	99.9	158.5		
財源	一般財源	千円	1,742	1,769	1,768	2,803		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	燻蒸(くんじょう)	回	目標	1	1	1
実績				1	1	1	
消防施設保守		回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
クレーン保守		回	目標	2	2	2	2
			実績	2	2	2	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
燻蒸(くんじょう)	回	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1		
消防設備保守	回	目標	1	1	1		
		実績	1	1	1		

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	民俗資料を良好な状態で保護、保存した。	
		事業実施における課題	長年に亘り収集した多数の民俗資料を保存しているため、収蔵庫が手狭になり、収納場所が不足している。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	民俗資料をはじめ、文化財は常に滅失の危機にさらされており、個人での保護、保存が困難な状況になっている。文化財は国民共有の財産であり、これを後世に残していくために、自治体としての役割が高い。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	収集した民俗資料の小学校等の授業への貸出しや、巡回による展示などの活用について検討していく。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
判定理由		貴重な文化財の保存が必要である。しかし、保存されている資料の利活用が図られていない状況である。		
27年度以降の改善案		民俗資料を公開する施設や収蔵庫を確保する必要があるため、小牧市歴史館に代わる歴史資料館を整備するための調査研究を行う。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。